



龍城ヶ丘プール跡地

**龍城ヶ丘ゾーン整備**  
 2020年までの完成ありきで進んでいるという声があるが、2020年の完成を目指していくのか。

**市長** 地域からの要望などを聞き、丁寧な説明を行いながら引き続きの目標として、2020年の一部オープンについて検討したい。

**問** 市民のための公園整備になるのかなどの声もあるが、どう考えているか。

**市長** 今回の手法は、民間のノウハウやいろいろな提案を活用して、都市公園の

魅力を上げるものである。市民に平塚の海をより一層楽しんでもらいたいという思いで強く進めている。

**問** 自然環境に対する配慮はどのようにするのか。

**市長** 既存の樹木は必要があれば移植などをする。また、松林や砂浜などで構成される海浜地ということを考えて取り組んでいく。

**問** 今回の公園整備と「道の駅」の違いは何か。

**都市整備部長** 「道の駅」とは24時間自由に入れる駐車場やトイレ、ドライブインの休息所などがあることが条件になっている。今回は海浜地を生かした海辺の公園づくりで、市民が憩えるような場所もある。多くの観光客を呼び、物販するというイメージではない。

**問** この事業におけるリスク回避をどうするのか。

**都市整備部長** 事業者が事業を継続できない場合のリスク回避として、承継や保証金の検討をしている。

**問** 今後の事業スケジュールについて伺う。

**都市整備部長** 今年度中に事業者を決定し、契約することを目標にしている。

**問** 事業者を決定するまでのプロセスは丁寧なやり取りということでしょうか。

**都市整備部長** そのとおりである。

**生産緑地の要件緩和**  
 生産緑地法の一部改正に伴い、面積要件を緩和して、引き下げを行うべきと考えるが、見解を伺う。

**まちづくり政策部長** 今後策定する都市農業振興基本計画との整合を図り、生産緑地地区の面積要件を引き下げる条例を制定したい。

**問** 具体的なスケジュールについて伺う。

**まちづくり政策部長** 11月頃にはパブリックコメント

を実施し、3月の条例改正に向けて進めていきたい。

**四之宮の新たな拠点**  
 さくら幼稚園の跡地利用として、地元から四之宮公民館の移設・新設に係る要望書が出された。新たな拠点へと生まれ変わる好機と考えるが、見解を伺う。

**市長** 四之宮公民館は立地に多くの課題があるため、現在の公民館をさくら幼稚園の跡地に移設・新設する方向で検討を重ねている。



現在の四之宮公民館

**まちの活力や魅力で選ばれるまち持続可能なまち**  
 野崎 審也 議員

**問** 地元との調整はどのように行うのか。

**企画政策部長** 地元との調整や関係団体への説明、庁内の合意形成など、そのように考えている。

**七夕の活性化**  
 七夕まつりの課題について伺う。

**副市長** 七夕飾りの充実や市民ボランティアの確保、自主整備や環境衛生に係る経費の増大への対応、会場周辺の居住者への配慮、消灯後の来場者への対応などが挙げられる。また、七夕まつりの集客力を生かし、

市内の観光消費額の向上を図ることも課題である。

**問** 七夕まつりに約150万人の来場がある。消費拡大に向けた施策はあるか。

**副市長** 事業者がアイデアを生かし、企画・運営に取り組みることが事業の継続性や発展性の上でも重要である。市としては、このような取り組みに対し、必要な支援を講じていく。

2020年は70回目の節目となる七夕まつりである。新たに七夕活性化検討委員会を設置し、新たな視点での七夕まつりを考えることができないか。

**産業振興部長** 実行委員会の既存の部会での対応を考えると、できないのであれば、実行委員会の中にそのような部会をつくることの方が効果はあると感じる。

**持続可能なまちへ新しい地域公共交通**  
 地域公共交通活性化協議会の目的を伺う。

**交通政策担当部長** 地域公共交通網形成計画を作成するため、この協議会を年度内に4回開催する。市内の公共交通に関する課題を共有し、合意形成を図る。

**問** 公共交通について、今までは進捗状況が分からなかった。今年度に策定するので、同時並行でいろいろなことを考えられないか。

**交通政策担当部長** 協議会開催後に議論の内容や進め方などを広報していく。

**問** 公共交通における地域の課題は抽出できたのか。

**交通政策担当部長** 地域公共交通網形成計画の策定前に市内全体にアンケート調査を行う。それを分析し、計画案に反映させていく。

**問** アンケートの内容を見ると抽象的なので分析しても地域の課題を抽出できないと思う。アンケート結果をどのように生かすのか。

**交通政策担当部長** 計画を策定するに当たって不足するものなど、追加の調査については聞き取りなどの実施も検討していきたい。

**問** 最近では、交通弱者や高齢者などの交通手段として、地域住民によるシャトルバスなどの運行が考えられる。そのような場合に、市としてどのような支援や関わりができるのか。

**福祉部長** 福祉では有償運送や無償運送の件で話し合いをしている地域もある。そのため、地域の人たちが何ができるのか、市として何ができるのかを検討している。そのような要望があれば説明と支援の検討などを行いいたいと考えている。

過去3年間の税収の流出額について伺う。

**企画政策部長** 平成27年1月から12月までの寄附に対する28年度の減収額は約9400万円、同様に29年度が約1億7千万円、30年度が約2億3千万円である。

**問** ふるさと納税制度自体の問題も指摘されているが、何もしなければ税の流出額は更に増大する。今後の取り組みを伺う。

**企画政策部長** ふるさと寄附金事業の趣旨を踏まえ、多くの人に応援してもらえよう、本市の魅力発信に資する取り組みに努める。

**財政健全化**  
**ふるさと寄附金事業**  
 皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。請願には賛同する議員の紹介が必要です。

# 総括質問

今定例会では、16人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



## 6月 定例会概要

6/5~6/28・会期24日間

- 6月5日 本会議(第1日)
  - 市長提出議案の上程、提案説明
- 6月14日~19日 本会議(第2~5日)
  - 総括質問
  - 市長提出議案(追加議案)の上程、提案説明
- 6月21日~22日 常任委員会
  - 21日 総務経済常任委員会 都市建設常任委員会
  - 22日 環境厚生常任委員会 教育民生常任委員会
- 6月28日 本会議(第6日)
  - 市長提出議案、請願の討論、表決
  - 会議案の提出、表決
  - 市長提出議案(追加議案)の上程、提案説明、表決

## 議長ダイアリー

平塚市議会議長 山原 栄一



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(5月~7月)

- 5月9日 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会・総会
- 5月30日 全国市議会議長会定期総会
- 6月1日 全国競輪主催地議会議長会総会、全国競輪主催地議会議長会関東甲信越静岡部会総会
- 6月26日 平塚市安心・安全まちづくり連絡協議会総会
- 7月2日 相模川整備促進協議会、新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会委員会
- 7月8日 友好都市伊豆市正副議長との意見交換会
- 7月11日 湘南地方市議会議長会
- 7月23日 平塚市議会議員OB会総会
- 7月23日 鈴川改修整備促進協議会